

西那須野ロータリークラブ:月井美好会員

牛舎施設 ユニバーサル化

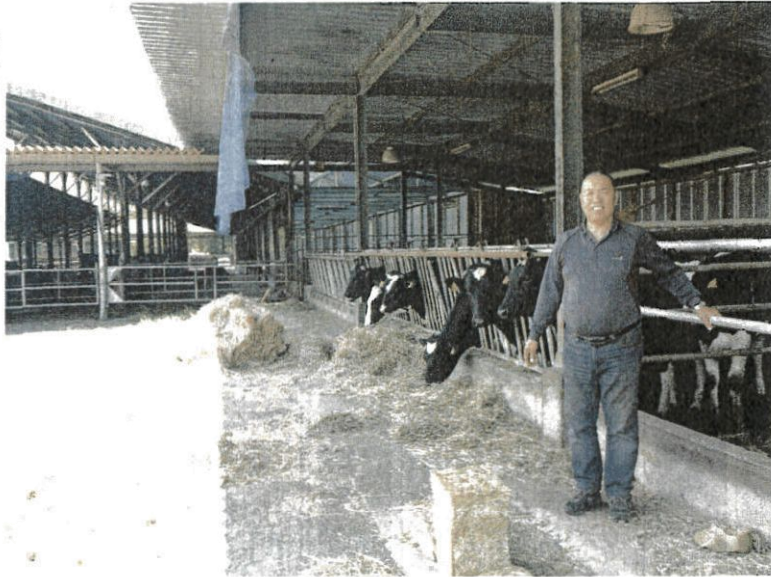
酪農・オリジナル乳製品販売を手掛けるハーレイ牧場（那須塩原市百村、月井美好社長）は、障害者も安心して働けるユニバーサル牧場として自社牧場を整備する。東南アジアへの販路

那須塩原の
ハーレイ牧場の

開拓も視野に入れた規模拡大に併せ、牛舎の搾乳スペースを車いすでも作業可能な造りにして、障害者を雇用する計画。自社の成長と共生社会の実現の両方を目指す。
(田面木千香)

車いすでも搾乳可能に

同市関谷の第2牧場を
ユニバーサル牧場に整備
広さ4400平方メートル。11



障害者も働ける牛舎の整備予定地に立つハーレイ牧場の月井社長

ポット搾乳機も導入する。整備に伴う障害者雇用が、人の手で搾乳するスペースは通路を広く取るなど、車いすでも作業できるようにする。整備費は3億5千万円。7月中旬に着工し、11月の完成を予定する。

整備に当たっては、日本政策金融公庫の融資のほか、栃木銀行などが創設した「とちぎん農業法人ファンド」から3010万円の出資を受けた。

現在、乳牛は第2牧場と同市百村の第1牧場とを合わせ270頭、売上高は月井社長の妻・千枝子さんが社長を務める乳製品販売のグループ会社「農福連携」が広がりつを含め、約1億8千万円（2016年7月期）。2021年に乳牛約800頭、売上高約6億円を

11月完成、障害者雇用も

が農業の担い手となる「農福連携」が広がりつを含め、約1億8千万円（2016年7月期）。2021年に乳牛約800頭、売上高約6億円を

描いている。障害者も生き生きと暮らせる地域にしたい」と思い